

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 島田 洋二郎

副会長 松本 恭一

幹事 石毛 充

会計 金子 芳則

2016~2017年度 RI テーマ

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

2016~2017 RI 会長 ジョンF. ジャーム



例会日時 毎週水曜 12:30~

例会場 銚子商工会館 5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2936号 (2017年3月1日発行)

今週のプログラム

「男女の違いと女性の活躍推進」

東京海上日動火災保険株式会社

執行役員 千葉支店長 吉田 正子様

(千葉 RC)

前回例会報告 (2月22日)

点 鐘: 島田 洋二郎会長

ロータリーソング:

四つのテスト

四つのテスト唱和

ビジター紹介:

佐原商工会議所

事務局長 椎名 喜予様

(卓話者)



会長挨拶

2月も最後の例会となります。今日は、佐原商工会議所の事務局長、椎名喜予様をお迎えしての例会となります。椎名様にはお忙しい中、お越し頂き御礼を申し上げます。のちほどの卓話、よろしく願い申し上げます。

椎名様は佐原からお越しということで、佐原ロータリークラブについて触れさせて頂きませぬ。第7分区のお隣、第8分区に所属する佐原ロータリークラブは、私どもと同じく千葉ロータリークラブのスポンサーのもと、1957年12月11日に創立されました。千葉県内では銚子が8番目、9番目が茂原、そして佐原が10番目の創立となります。従って次年度が創立60周年ということです。第8分区内には他に3クラブ、1967年創立の多古ロータリークラブ、1968年創立の小見川ロータリークラブ、そして1996

年に創立の佐原香取ロータリークラブがありますが、すべて佐原ロータリークラブがスポンサーです。現在会員数は50名、女性会員はいません。地区の財団委員長、職業奉仕委員長として、銚子へは何度もお越しになっている川原勝壽様が所属されているクラブです。

さて、この19日、干潟の黄鶴において第7分区インターシティー・ミーティングが開催されました。IMはご存知の通り、分区のガバナー補佐が主催し、ロータリーについての勉強会、討論などのスタイルそして会員相互の親睦も重要な目的として、必ず懇親会が併用される会合です。

今回の講師としてお迎えしたのが鶴岡ロータリークラブ・Pガバナー 藤川亨胤様、3年前の銚子東クラブとの合同例会の際にも銚子へいらっしゃっていますが、ロータリーの原理原則を大切にされる方で、銚子での地区大会で講演をされた、タイのビチャイ・ラタクル元RI会長を師と仰ぐ、日本でも有数の職業奉仕の語



第2790地区

ガバナー 青木貞雄 (成田コスモポリタンRC)

広報・会報委員会 委員長 信太 秀紀

委員 金子 芳則

り手です。

藤川様の冒頭のお話で、インターシティー・ミーティング＝IMは、以前はIGF＝インターシティー・ゼネラル・フォーラムとも言っていたそうです。IGFを調べたところ、親睦に関することは載っていませんでしたが、IMに含まれる会合と記されていました。

今回の内容について時間の都合上、詳しくお話しすることは致しませんが、近年の国際ロータリーの変革に対して深く危惧をされているお話が中心だったと思います。一業種一会員が無くなってからの会員増強のあり方、例会の出席規定の緩和、ロータリーの組織としての職業奉仕の立ち位置、ロータリーの大切な目的である人を育てるという考え方の希薄さ、次世代を担う青少年への取り組み方などを挙げられてのお話でした。

藤川様は、ロータリーの例会は大切な親睦の場でもあり、2階建ての家に例えれば1回が親睦、家の基礎がしっかりしていれば2階の奉仕の場も安定する、以前のロータリーの樹を例えられていると感じました。ロータリーの樹については以前もお話をしましたが、親睦という土壌から職業奉仕の太い幹が伸び、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕の枝葉が伸び、やがてその枝に豊かな実が育つというのが4大奉仕のロータリーの樹ですが、今年度新たに示されたロータリーの樹は、土壌が親睦に加えて超我の奉仕、4つのテストが加わりました。そしてその樹の上にはロータリー財団という空がロータリーの樹を覆っています。国際ロータリーの推奨する組織、奉仕プロジェクト委員会の中に職業奉仕が組み込まれる形は新しいロータリーの樹の姿とも矛盾しているように思います。

藤川様はロータリーの会員にはおおむね2種類、利益を追求する職業人＝ビジネス、そして利益を目的としない＝僧侶や神職、医師といったプロフェッショナルですと言われます。社会のために奉仕するということは、まずは自分の職業を持って奉仕するというのが一番の近道、アイサーブがロータリーの基本ですとお話をされました。

本年度、IMの報告例会は有りませんが、今回のインターシティー・ミーティングに参加された皆さんは今回の藤川様のお話を聞いてどのように感じられたでしょうか・・・。

幹事報告



【週報拝受】

八日市場RC、鹿島臨海RC
1. 2017-18 年度クラブ役員登録のお願い

2. 2017年3月のロータリーレート1ドル＝116円

…ガバナー事務所

3. クラブ一覧表ご確認のお願い

…ガバナーエレクト事務所

4. 2017 RI 年次大会参加旅行募集のご案内

…東日観光(株)

【例会変更】

鹿島臨海 RC

2月24日(金)→25日(土)IM 準備のため休会

会員の記念日

☆誕生日おめでとございます。



伊藤 浩一会員(2月16日)

☆結婚記念日

宮内 清次会員(2月16日)

丸山 泰典会員(2月18日)

☆創業記念日

小田島國博会員(2月21日)

ニコニコBOX

◇宮内 龍雄会員



先日(2/15)の新入会員研修セミナー、多くの方に参加して頂いて、ありがとうございました。高橋クラブ研修委員長の例会についてのお話、大変有意義でした。



2017年3月のロータリーレート116円

卓 話

「伝統・文化を活用したまちづくり型 観光の推進について」

佐原商工会議所 事務局長 椎名 喜予様



市民が磨いた宝

「佐原の山車行事」など 33 の山鉾屋台行事が昨年末にユネスコ無形文化遺産に登録された。これは町衆の祭りとして江戸時代から受け継がれて来たものを、当時年番区長であった小森孝一元会頭が有志と共に歴史的資源として文献を紐解き、その精神を検証し、国の重要無形民俗文化財に指定される活動を行ったことから始まった。それらの文献から佐原の山車行事は地域振興のために活用されるものであり、持続可能な地域づくりのためのソーシャル・キャピタルであると位置づけられよう。地域が主体的にまちづくりに取り組むことが未来へと繋がっていく。地域のグランドデザインを描くのは市民であり、そのための礎となるものが永年培ってきた地域の伝統・文化であり、まさに地域の誇りである。

佐原の歴史的町並みは平成 8 年に関東で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。これも市民が主体的に町並みの保存に取り組んだ成果であり、建物活用も視野に入れて取り組んでいる。

またその遺品 2345 点が国宝の伊能忠敬翁の偉業は、日本地図作製のみならず名主・村方後見役として、住民自治、地域おこし、産業おこしに積極的に取り組んだ。その生き方は正に佐原のまちの礎である。「地域が豊かでなければ個人は豊かになれない」という言葉のとおり、「経世済民」は伊能家の伝統であり、佐原の町衆の心意気である。

磨く市民こそ宝

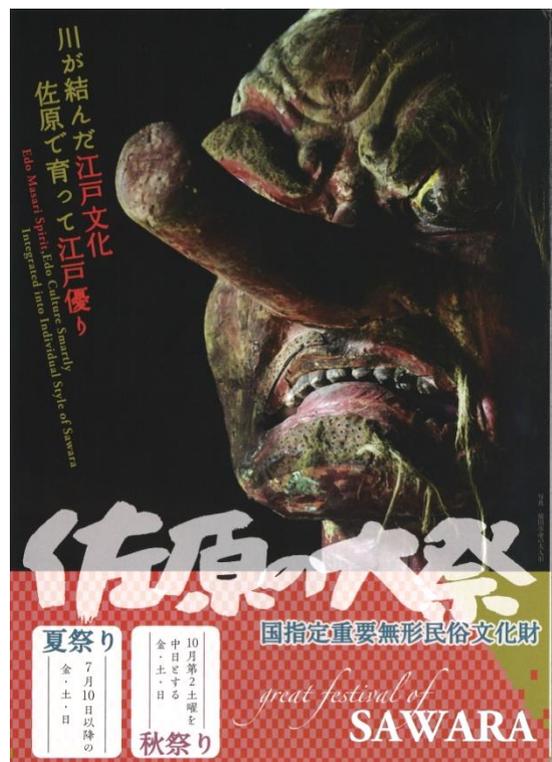
「まちぐるみ」は佐原のまちづくりのキーワードである。市民が主体的にまちづくりに取り組む姿自体が観光資源である「まちづくり型観

光」はこのように市民が連携・協力する市民協働のまちを表している。

佐原では多くの市民活動団体が活動し、其々がまちづくりの一役を担う。市の観光アクションプランのテーマは「一人二役一貢献」という行動規範であり、一役は佐原に誇りを持って住暮らすこと。そしてもう一役は地域に貢献することである。決して無理することなく、観光客に道を聞かれたら親切に対応するとか、自宅の前だけでなくもう少し広範囲に掃除するとか、ほんの少し頑張ってみようというものである、これを地域ぐるみで行うことでとても心地よい空間が創出される。

「文化都市佐原」

まちづくりにおいて伝統文化が重要であることは、3.11 東日本大震災で強く認識した。液状化等まちが甚大な被害を受け、歴史的建造物の多くが被災し、千葉県最大の激甚震災地となったとき、「佐原囃子」が心の支えであり、「祭りが出来るまちへ」の想いが復興を後押しした。これからも歴史・伝統・文化を、次代を支える子供たちに伝えていくことが大切だと考えている。その為には様々な仕組みづくりが求められる。市民が市民を支える仕組みや、伝統文化を正しく伝承する仕組みなど、先人たちが取り組んだ本物志向の「江戸優り」の生き方をこれからも受け継いでいきたいと願っている。



委嘱状伝達

宮内 龍雄会員
2016-17 年度 RLI 実行委員会 委員

委員会報告

宮内秀章地域・環境保全委員長



花植えのお知らせ

駅前ロータリーの花植えを下記の通り実施いたします。ご都合のよろしい方はご参加ください。

日時：3月7日(火)午前9：30～
MUとなります。小雨でも実施いたします

猿田神社北側駐車場

ロータリー憩いの森に

「四つのテスト」看板を設置しました。



【出席報告】

会員総数 41 名 出席計算 39 名
出席：27 名 欠席：12 名 出席率 69.23%
欠席：石毛(英)君・伊東君・木曾君・越川君
永澤君・大岩君・大里君・佐藤君
信太君・櫻井(公)君・富永君
高橋宏明君

【M U】

2/25 RYLA 丸山君 2/26 RYLA 小林君



RYLA セミナーに参加
千葉科学大学 RAC
木村徹会長(右)
佐藤優花さん(中央)

2/27 RLI パート I 石毛君・高木君

【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥ 6,000	計 ¥334,000
スモールコイン	¥ —	計 ¥ 36,290
米山 BOX	¥ 2,350	計 ¥ 37,910
希望の風	¥ —	計 ¥214,200

次週のプログラム (3月8日)

「お米・稲作・土壌」(仮題)

千葉科学大学 危機管理学部

環境危機管理学科 教授 八田 珠郎様

お弁当：大新(幕の内)

銚子東 RC 創立 45 周年記念講演会

日時：2月26日(日)

場所：銚子市消防庁舎 3 階講堂

講師：石巻市社会福祉協議会

会長 大槻 英夫氏

演題

「東日本大震災における取組みとその後の対応」



主催者：銚子東 RC 釜谷藤男会長挨拶

